

甲斐市議会議会改革特別委員会会議録

1. 開催日時 平成30年11月8日

2. 招集場所 甲斐市役所委員会室A

出席委員（9名）

委員長	清水正二君	副委員長	五味武彦君
	伊藤毅君		金丸幸司君
	滝川美幸君		松井豊君
	有泉庸一郎君		内藤久歳君
	藤原正夫君		

議長	長谷部集君	副議長	小澤重則君
----	-------	-----	-------

欠席委員（なし）

傍聴議員（なし）

職務のために出席した者の職氏名

書記	興石文明	書記	中込美智子
----	------	----	-------

議題

- 1 市民参加による議員研修会の最終協議について
- 2 今後の進め方について
- 3 その他

開会 午後 1時57分

○書記（輿石文明君） 改めまして、こんにちは。

ただいまから議会改革特別委員会を始めさせていただきます。

初めに、委員長挨拶、清水委員長、お願いいたします。

○委員長（清水正二君） 改めまして、こんにちは。

11月に入りましていろいろと、この前は、1日からは合同研修ということで、また、その後は各会派の研修というふうな形の中で、研修疲れもあろうかと思えますけれども、議会改革特別委員会、研修の疲れを吹き飛ばして、頭を活性化して議会改革ということの形の中で、またご協議を願いたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○書記（輿石文明君） ありがとうございます。

続きまして、議長挨拶、長谷部議長、よろしくお願いいたします。

○議長（長谷部 集君） 大変ご苦労さまです。

今、委員長の話にあったとおり、大変お疲れのところだと思えますけれども、16日の研修会が約1週間後に迫ってまいっております。ぜひ成功させていただきまして、また、今後の議員定数等の議論に大いに役立てていただけますようお願いを申し上げます。挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

○書記（輿石文明君） ありがとうございます。

それでは、議事の進行につきましては、清水委員長、よろしくお願いいたします。

○委員長（清水正二君） ただいまの出席委員は9名です。定足数に達しておりますので、これより議会改革特別委員会を開会いたします。

○委員長（清水正二君） 本日の会議を開きます。

それでは、内容に入ります。

内容1の市民参加による議員研修会の最終協議についてを議題といたします。

初めに、事務局の説明を求めます。

輿石係長。

○書記（輿石文明君） それでは、資料の2ページをお願いいたします。

前回協議いただきました議員研修会の開催要領でございます。修正、追加の箇所について説明をさせていただきます。

資料の3ページをお願いいたします。

まず、13、運営協力につきましては、委員以外の議員5名の報告を各会派から受けましたので、ご報告をいたします。

協力議員につきましては、小浦議員、横山議員、赤澤議員、秋山議員、保坂議員の5名でございます。

次に、14、研修会の次第につきましては、前回決定のとおりでございます。

次に、15、役割分担についてですけれども、1、総括責任者、清水委員長、司会、滝川委員、3番、講師の対応を追加させていただきました。3人ということで、正副議長、滝川委員に講師の先生の接待などをお願いをしたいと思います。

次に、4、講師紹介、五味副委員長、開会挨拶、清水委員長、閉会挨拶、小澤副議長。

7、8、9につきましては、こちらのほうで割り振りをさせていただきました。会場設営係4人、内藤委員、藤原委員、小浦議員、赤澤議員でございます。

8、受け付け係につきましては、五味副委員長、金丸委員、保坂議員、横山議員。

9、アンケート係につきましては、伊藤委員、松井委員、有泉委員、秋山議員でございます。

資料の4ページをお願いいたします。

16、当日の流れについてですけれども、会場のほうが午後から借用をしております。午後1時から事務局のほうで下準備をしておきます。委員等の集合時間ですけれども、午後5時30分に集合をしていただいて準備の開始という形ですけれども、粗方事務局のほうで支度をしておきますので、確認等々お願いをいたします。

次に、講師の到着時間ですけれども、まだ確認中でございますけれども、6時30分前後になろうかと思えます。両方表示してありますけれども、決定になりましたら、また記載をしたいと思います。

午後6時30分受け付け開始でございます。受け付け係、アンケート係のほうで対応をお願いをしたいと思います。

次に、午後7時から研修会スタートという形の中で、開会、議長挨拶、講師紹介、講演、質疑応答、閉会という流れでございます。

午後9時閉会ですけれども、その後、アンケートの回収をアンケート係、受け付け係で対応をお願いいたします。片づけにつきましては、全員の協力をお願いいたします。午後9時30分ごろ、解散の予定でございます。

次に、17、準備品についてですけれども、まず、研修会の次第と資料につきましては、お手元に配付してありますけれども、こちら2種類になります。研修会の次第と資料1とあるものが当日配布の資料でございます。研修会の次第、めくっていただきまして、1ページからが江藤先生の講演で使う資料でございます。この中に資料1とか資料2というような形の中で、こちらの資料を使うようになります。

なお、本日、委員長のほうから指示がございまして、甲斐市議会の議員定数、報酬のわかる、経緯のわかるものを資料の中に入れてらうだということですので、準備をいたしますけれども、ちょっと間に合わなかったので、ちょっと配付します。

〔資料配付〕

○書記（輿石文明君） 第2回の会議のときに使った、こちらの資料になりますけれども、それをベースにちょっと手を加えまして、甲斐市議会の定数、報酬の経緯がわかるものを資料の中に入れてたいと思います。

次に、アンケート用紙ですけれども、お手元に配付してありますこちらになります。前回ご協議をいただきまして、修正したものとなっております。

次に、封筒、クリップ鉛筆ですけれども、300組用意をいたします。受付簿は人数分、各種看板、垂れ幕ですけれども、施設の入り口、ホールの入り口、ステージの上の看板、垂れ幕を準備をいたします。

次に、アンケートの回収箱については、4箱支度をします。カメラ、録音機1式、講師用水差しセット1式、ワイヤレスマイクが4本使用可能でございます。受け付け用の机、椅子、講演用の演台、机、椅子、司会者のシナリオ、追加席用の椅子50脚を用意をします。

資料の5ページ、6ページにつきましては、第1回議員アンケートの集計結果になっておりまして、5ページの設問に網掛けのところですが、前回集計を変更しておりますので、こちらのほうに記載をさせていただいております。また、第1回アンケート一覧表のほうも、12番目ですけれども、定数2人のところを20人に修正をしております。こちらのほうは研修会とは関係ありませんけれども、前回の確認ということで資料のほうに入っております。

説明は以上でございます。

○委員長（清水正二君） 説明が終わりました。

前回からの追加内容等について、確認していきます。

資料の3ページ、13の運営協力委員以外の議員5名についてはよろしいでしょうか。

〔発言する者なし〕

○委員長（清水正二君） それでは、次に15の役割分担について、どなたかご意見ございますか。

金丸委員。

○委員（金丸幸司君） 受け付け係、私、今回、受け付け係なんですけれども、当日、先ほどこういった資料をクリップペンでまとめて、アンケートの用紙をまとめたやつを来た方々に配布するというのが受け付けの係の役割でいいんですか。ちょっと確認で。

○委員長（清水正二君） 興石係長。

○書記（興石文明君） まず、受付簿のほうに参加者の方、お名前書いていただきまして、資料のほうは、先ほど説明しました2種類とアンケートの用紙と、あと封筒とクリップペンをお渡しいただいて、会場は大ホールですというような案内をしていただきたいと思います。

以上です。

○委員長（清水正二君） よろしいですか。

○委員（金丸幸司君） はい。

○委員長（清水正二君） ほかに15番について、役割分担についてご意見。

五味副委員長。

○副委員長（五味武彦君） 会場設営になるかどうかかわからないけれども、当日の我々の、例えばどこへ座るかということによって会場の設営の仕方が変わると思うんだけど、その辺は、普通の座席にただ議員は並ぶということでしょうかね。どうなんですか。

○委員長（清水正二君） いかがいたしましょうか。議員の席は前のほうにとるようにしますか。

当然、会場に入ってくる人たちよりも議員のほうが多いんですけども、受け付けをしたりするので、議員の席としては、議員研修会だから、議員席は前のほうへ持っていったほうが良いと思いますが、いかがでしょうか。

内藤委員。

○委員（内藤久歳君） ステージがあって、客席がありますよね。その前にスペースがあるので、その袖のほうに議員席みたいなものを設けておいたらどうかと思うんですけどもね。

[発言する者あり]

○委員（内藤久歳君） そうそう。だから、いるとすれば、そこしかないよね。そうはいつでも、議員が客席と一緒にいるというわけにもいかんと思いますけれども。

[「でも、議員研修会だからね」と呼ぶ者あり]

○委員（内藤久歳君） その辺のところはみんなの意見を聞いて。

[発言する者あり]

○委員長（清水正二君） 私の考えですと、いろいろな議員研修会がありますよね。講師がいて、壇上に上がる人は上がるけれども、講演のときには客席のほうにいて研修という形で聞くんで、今回、議員研修というものなので、議員も同じように客席のほうで聞いたほうがいかなとは思うんですけれども。

[発言する者あり]

○委員長（清水正二君） 興石係長。

○書記（興石文明君） ステージの前が若干広目にあいていまして、客席が段になっています。その段の前に2列ぐらい椅子が置けるようになっていまして、できれば1列目に22人が並ぶような形で考えてはいますけれども、また、設営をそんな形でしておきますので、5時半に集合したときにご確認をいただいて、どんなようにするか、またご協議をさせていただきたいと思います。

○委員長（清水正二君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） 今、係長が言われたけれども、だから、基本的に客席と同じレベルで前に置くということが一つだよ。そして、あと2列にするのか1列にするのかという大変なことだから、その辺は今言ったように、並べてみて、難しい問題じゃないから、そこへ行って現場で確認をして決めればいいのか。

○委員長（清水正二君） 私としては、例えば会場に入り切れない場合に、椅子をまた50席ぐらいあるんですね。それを前に並べるという形なんで、できればこう、1、2、3列あるんで、どこかの列を議員の列にしたほうがいかなというふうに思うんですけれども、もし入り切れない場合、そうしないと入り組んでしまうんですよ。いかがでしょうか。

藤原委員。

○委員（藤原正夫君） 今、係長の設定だと、舞台から段の本椅子までが10メートルぐらいあいていて、そこだけで五、六十人入れるとは思うんで、あそこのスペースへ係長が言ったように22人を、多いようだったらこれをもっとふやせばいいとは思うんで、これでいいと

思うんだけど。満席になって幾つだっけ、あれ。200、300だっけ。270ぐらいだから、そんなには……

[発言する者あり]

○委員（藤原正夫君） 委員長はどう、ここにこういうふうにするということを考えているの。

○委員長（清水正二君） 私は、ですから通りが3つあって、前列から22人をそこに議員の席として置いたほうが。

○委員（藤原正夫君） まとめてという事ですね。

○委員長（清水正二君） そうですね。もし来たときに、我々の席が前にしても、結果的に混んでくればそれを並べていくから。

講師との意見交換もありますよね、当然。そうしたら、そのほうがやりやすいかなと思うんですけども。

滝川委員。

○委員（滝川美幸君） 講師の先生は、講演になったときに上で講演なさいますか。

○委員長（清水正二君） ステージでやります。

○委員（滝川美幸君） それじゃ、委員長がおっしゃったように、議員の席をつくるというときには、そこに例えば議員の席とかと張るということですよ。いや、ここは困りますよとは言えないわけだから、そういう形まで持っていくということですね。

○委員長（清水正二君） ですね。受け付けの議員がいますよね、受け付け係の人たちが。アンケートもそのとき配るんですよ、一緒に。その議員の分を席をあげ、何らかのもので確保しておけば、それでできると思うんですよ。

金丸委員。

○委員（金丸幸司君） だから、既存の椅子で、もしふえてきたら、さっき言った予備のパイプ椅子か何か、あれを来たら置くということに、最初からセッティングするわけじゃないですよ。

○委員長（清水正二君） はい。

○委員（金丸幸司君） 多くなってきたら、そこに置いて座ってもらってください。

○委員長（清水正二君） じゃ、一応そんな形で、現地へ行ってまた意見をお聞きしたいと思います。

ほかにございますか。

15番、役割の中で。

五味委員。

○副委員長（五味武彦君） 10番のマイク係なんだけれども、事務局対応ということなんだけれども、例えば質問者がいた場合は、小澤君、中込さんで対応するのかな。

○委員長（清水正二君） 講師が1本、司会者が1本持ちますよね。4本あるんで、両脇から2本という形で間に合うかとは思いますが。

○副委員長（五味武彦君） なるほどね。じゃ、事務局の方をお願いすればいいということでもいいのかな。はい、確認です。

○委員長（清水正二君） ほかに。

よろしいですか。

〔発言する者なし〕

○委員長（清水正二君） それでは、16番の当日の流れについて、ご意見等お伺いいたします。

ここにあります午後1時から事務局のほうで準備をしてくれるんですけども、集合時間が5時半というふうになってはいますが、時間的に7時から開演ですので、私は6時ぐらいでいいかなと思うんですが、どうでしょう。もっと早いほうがいいのかとか、このとおりでいいとか。

内藤委員。

○委員（内藤久歳君） いろいろ市民と対話集会の準備状況を見ても、開会までに1時間あれば、それでもっと言えば、事務局が午後から下準備をしてくれているという状況があるから、過去の例を見たときに、6時でも十分じゃないかなというふうには思いますけれどもね。

○委員長（清水正二君） 内藤委員のほうから6時でもいいというふうなご意見でございますけれども、よろしいですか、6時で。6時には必ず来ていただけるようお願いいたします。特に講師の接待という形もありますので、滝川委員にはぜひお願いいたします。

そのほか、当日の流れについてご意見ございますか。

内藤委員。

○委員（内藤久歳君） 演台には花でも飾る予定があるか。

○委員長（清水正二君） 興石係長。

○書記（興石文明君） 今のところ、予定はございません。

○委員長（清水正二君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） ちょっと花ぐらいあったほうが雰囲気的にいいかなと思うんだけど

も、どうですか、皆さん、ご意見。

[発言する者あり]

○委員長（清水正二君） 興石係長。

○書記（興石文明君） 予算はありませんが、事務局で、借りるなど用意をいたします。

○委員長（清水正二君） じゃ、ぜひそのような形で。

ほかにございますか。

[発言する者なし]

○委員長（清水正二君） なければ、当日の流れは集合時間だけ6時ということでお願いいたします。

確認ですが、アンケートの回収のほうはアンケート係と受け付け係のほうでお願いいたします。また、当然、改革の委員の中でもお手伝いを願えればと思います。

次に、17の準備品のほうですが、先ほど内藤委員のほうからもありましたけれども、花もこの中に入ろうかと思えますけれども、ほかにございますか。

[発言する者なし]

○委員長（清水正二君） よろしいですか。

五味副委員長。

○副委員長（五味武彦君） 受付簿というのは何セット、1式となるけれども、2つぐらい。

○委員長（清水正二君） 興石係長。

○書記（興石文明君） 1枚に20人名前が書けるような形で、人数分間に合うように支度をいたします。

[発言する者あり]

○委員長（清水正二君） ほかにご意見ございますか。

[発言する者なし]

○委員長（清水正二君） なければ、この資料のとおりでいきます。

次に、当日の資料のほうですけれども、ご確認願います。

当日の次第と資料のほうですね。この研修会の資料のほうにつきましては、江藤先生のほうから出されたものですが、これについて何かご意見等ございましたら。

五味副委員長。

○副委員長（五味武彦君） 資料は裸でそのままあげるといっていいですかね。袋に入れるか。

○委員長（清水正二君） 興石係長。

○書記（興石文明君） 資料とアンケートにつきましては、封筒とクリップの鉛筆をセットにしてお渡しをいたします。

○副委員長（五味武彦君） はい、すみません。

○委員長（清水正二君） ほかに。

金丸委員。

○委員（金丸幸司君） さっき委員長のほうで議員定数、過去の経緯を、これも入れてやるんですけれども、これ特に先生のほうから何か説明するとかじゃなくて、あくまでもこういう経緯がありましたよというだけで。

○委員長（清水正二君） 先生のほうは、多分、これには触れないと思います。一応、アンケートをとる上で過去の経緯はどうかということで、議長と相談して、こういうふうなものを刷っておかないと一般の市民の方には流れがわからないんじゃないかなというふうなことです。

長谷部議長。

○議長（長谷部 集君） ただいまの件ですけれども、恐らく先生の話の中にはありませんし、質問もない限りそれに触れることがないので、議長挨拶の中で、その経緯についてを説明をしようかなというふうに思っております。

以上です。

○委員長（清水正二君） 松井委員。

○委員（松井 豊君） 確認ですが、この研修会、それから資料1、それから経緯、アンケートのこの4種類を渡すということによろしいですか。

○委員長（清水正二君） はい。

ほかに何かご意見等ございますか。

内藤委員。

○委員（内藤久歳君） この第2回会議資料の中身なんだけれども、これ今、空欄になっているところがあるが、これはあえて空欄にしてあるということですか。

○委員長（清水正二君） 興石係長。

○書記（興石文明君） こちら第2回の会議で使った資料で、これをちょっと加工をして文書にするか、また表にするのか、ちょっと検討させていただいて、当日配るこの次第の中に入れてと思いますので、これをこのまま入れるということではなくて、手を加えます。

○委員長（清水正二君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） ちょっと手を入れるということなんだけれども、26年から継続して22人で来たということが数字の上でわかるように入れておいたほうがいいかなというふうには思うんですよ。

○委員長（清水正二君） それでは、そのようにします。

滝川委員。

○委員（滝川美幸君） あと1つ、ちょっと教えていただきたいのは、現状で定数と報酬と次期議員改選出ていますよね、一番下の表に。この中で報酬は、あくまでも報酬だけであって、やはり市民の方たちには、私たちが政務活動費というものをいただいているというところで、そういうものというのは必要ないですかね。そうしないと、例えば甲斐市と南アルプス市では、報酬35万円でありますけれども、甲斐市は1万円の政務活動費、南アルプス市は1万5,000円の政務活動費、違いがあるじゃないですかね。だから、一概に35万円では比較ができないような気がするんですけども、その点はどんなふうに考えますか。

○委員長（清水正二君） 私の考えですと、活動費と報酬というものは全く別なものだと思います。

滝川委員。

○委員（滝川美幸君） 議員は、わかっているんですけども、一般の市民の人から見たときに、その政務活動費の理解がどのくらいあるかということもちょっとかかわってくるのかなと思ったので伺いましたけれども、それは全く別であるから構わないということですか。

○委員長（清水正二君） またその部分に関しては、対話集会等、そういったときに議会としてそのものをやるときに、そういった形でもって市民の皆様にお知らせするとか、わかっただけのような形でとるとか、そのほうが、議員報酬というのはあくまでも議員報酬ですから、その存在そのもの、政務活動費は別物ですから。

五味副委員長。

○副委員長（五味武彦君） 今回のテーマが議員定数、議員報酬にかかわってくるとうことであれば、政務活動費までちょっと及ばない部分があると思うんですよ。今後いろんな形の中で、今度は次の段階でいろんなものが出てくるじゃないですか。その辺と一緒にやったらどうかなと、私はそう思う。今回は、議員定数、報酬、この辺までで絞ったほうがわかりやすいかなと思うんですよ。

以上です。

○委員長（清水正二君） ありがとうございます。

この件に関しては、議員報酬のみでいくということによろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） はい。

ほかに。

興石係長。

○書記（興石文明君） 繰り返しになりますけれども、これをそのまま差し込むということではなくて、ちょっと手を入れて甲斐市の議員の定数、報酬がどういう流れで今に至っているかということをやっと作文しまして、資料のほうに入れさせていただきます。一番下、現状のこの部分を入れる予定はありませんけれども、また正副委員長と相談しながら、経緯については入れさせていただきます。

以上です。

○委員長（清水正二君） よろしいですか。

それでは、資料についてはよろしいでしょうか。

次に、アンケートの内容についてご確認をいただきたいと思います。

内容についてご意見等あれば、お伺いいたします。

この前、ご意見をいただいた中で修正してありますので、よろしいですか。

〔発言する者なし〕

○委員長（清水正二君） それでは、アンケートはこの形でいきたいと思います。

それでは、以上で市民参加による議員研修会の最終協議についてを終わります。

次に、（２）の今後の進め方についてを議題といたします。

前回、江藤先生の講演の後、再度、全議員のアンケートを行い、その結果と講演の際の市民アンケートの結果を踏まえ、委員会で議論を行うこととしておりますが、ここまではよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） それでは、そのように進めます。

次に、その後の予定ですが、１ページのスケジュールでは、12月、1月で報告書の案をまとめ、その後、パブリックコメントの募集、2月に対話集会という流れになっておりますが、私といたしましては、2月の対話集会で市民の意見を聞き、報告書の案を作成し、その後、パブリックコメントで報告書に対する意見募集をしたほうが流れがいいと思いますが、

今、この前にお示ししましたスケジュールですと、2月の市民と議会の対話集会で報告書の案についてというふうな形の対話集会案になっていると思うんですけども時間的には、ちょっと今の段階で報告書をもって、2月の対話集会で議員定数等検討、報告書案に対する意見交換という形でなくて、議員定数と報酬についてというふうな形で、報告書が今の段階ですと、この2月までには、時間的にスケジュール組みましたけれども、ちょっと無理があるんじゃないかと。江藤先生の講演と同じように、議員定数、報酬についてという中で対話集会というふうな形で臨んで、それ以降でこの報告書案をつくってパブリックコメントに臨みたいというふうに思うんですけども、一応それについて、スケジュール等もありますので、これちょっとスケジュールを議長とも相談した中ですけども、現在の中でスケジュールをちょっと変更したいと思うのですが、今からスケジュールをお配りします。

〔資料配付〕

○委員長（清水正二君） 今、変更のスケジュール案をお配りいたしましたけれども、今年度中というふうな形で、当初、スケジュールを組みましたけれども、どうもここまで来て、日程的にこれから報告書案をまとめていくという、12月の定例会を控えて、2月の対話集会に持っていくまでに時間的にちょっと厳しいんじゃないかというふうに思いまして、余り端的に結論を出すべきものでもないと思いますし、また、議員全員の意見も聞いて報告書もつくらなきゃいけないという形もありますので、今、お示ししましたスケジュールとして、6月までに、それより早くできればそれに越したことはないわけですけども。

それでは、スケジュールについて、事務局のほうから説明をさせていただきます。

興石係長。

○書記（興石文明君） それでは、変更のスケジュールについて説明をさせていただきます。

まず、特別委員会での報告書ですけども、第2回目に鴨川市の報告書をお配りしましたけれども、こんなような形でまとめたいというようなことで説明をさせていただきましたが、報告書の検討結果のところ、どういう形になるかあれですけども、最終的には、議員定数については何名が妥当であるというような形になろうかと思えます。妥当であるだとか、適正であるというような形になろうかと思えます。

今言う、何人が妥当である、適正であるという、報告書案を対話集会でお配りをして意見交換をするよりも、対話集会で議員定数についてのご意見をいただいた中で、その後、こちらの報告書のほうをまとめたほうが流れがスムーズじゃないかということが委員長の先ほど説明されたことです。あと、スケジュール的全議員の意見を聞いていくというようなことも

取り入れていくとなると、お配りしたスケジュールになるというような説明でございます。

それでは、1ページ、11月ですけれども、第7回につきましては、議員研修会、市民アンケートを踏まえた議員の意見聴取について協議をしていただいて、市民と議会の対話集会についてご協議をいただき、12月の第8回目ですけれども、議員の意見聴取の結果についての報告と市民と議会の対話集会の開催について協議、9回、10回も対話集会の関係でございます。

2月の市民との対話集会につきましては、1月25日に発行する議会だよりのほうへ記事を書きたいと思っておりますので、2月の対話集会のほうを1月に前倒すということも難しい状況でございます。

第11回が対話集会、市民アンケートを踏まえたまた意見聴取、3月、第12回ですけれども、議員の意見聴取結果について報告、委員会で意見の集約を行いまして、4月ですけれども、第13回、議員定数等の調査検討報告書案についての協議、またパブリックコメントの実施についての協議、第14回も同様でございます。

めくっていただきまして、2ページをお願いいたします。

5月ですけれども、調査検討報告書案を公表しまして、パブリックコメントにより意見の募集を行いまして、第15回、パブリックコメントを踏まえた調査検討報告書を最終決定をしていただき、6月の定例会ですけれども、委員会報告の最終協議と本会議での委員会報告、また市長への報告書の送付というような形で、7月に議会ホームページで報告書を公開というような流れでございます。

説明は以上です。

○委員長（清水正二君） いかがでしょうか。

この変更案について、ご意見等ありますか。

松井委員。

○委員（松井 豊君） パブリックコメントが最初のやつが随分早かったんで、いろんな流れとしてちょっと不自然もあったんで、このほうがいいとは思いますが。ただ、協議の中で、当然、状況は全員協議会みたいなもので、時々知らせないと、大体はハウツー出ているからわかっているだろうけれども、その辺の設定もちょっと考えてもらいたいと思います。

○委員長（清水正二君） 松井委員の言われるように、当然、案と申しますか、議会改革の案として、全員協議会の開催を議長にお願いをして全議員に諮った上で、またその意見を、全員協議会の意見を持った上で議会改革でまとめて報告書案をつくりたいというふうに考えて

おります。

内藤委員。

○委員（内藤久歳君） この流れが出て、パブリックコメントがあって、一応この特別委員会で案が出た時点で、それを全員協議会にかけてやるという流れということか。

○委員長（清水正二君） はい、そのように考えております。

それでは、この変更案でよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） はい、ありがとうございます。

それでは、そのように決定していきたいと思います。

次に、ただいまのスケジュールの中にあります2月開催の市民との対話集会ですが、ある程度、日にちとか時間帯とか、そういった大枠だけお諮りして決めていきたいと思います。

とりあえず案として、この前、お諮りしまして、今回の研修会が敷島の総文ということですけれども、対話集会については北部公民館を考えてはどうかというふうなご意見がありましたけれども、会場についてはいかがでしょうか。

松井委員。

○委員（松井 豊君） 北部公民館の広いところはどの位入るのですか。

○委員長（清水正二君） 興石係長。

○書記（興石文明君） 北部公民館の4階のホールですけれども、椅子を並べて220席用意ができます。

○委員長（清水正二君） ほかにご意見ございますか。

できれば北部公民館で市民とフラットな形で意見交換ができればというふうに考えますが、いかがでしょうか。

よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） それでは、会場のほうは北部公民館ということで。

それで、開催の時間帯、開催日と開催の時間帯について、日のほうですけれども、平日にするか休日にするか、過去の例から見ても、休日も平日も来られる方はそんなに差はない、大差はないです。

松井委員。

○委員（松井 豊君） 3月議会を控えているので、質問の受け付けの前にはできたらやっち

やいたいと思いますが、どうでしょうか。

○委員長（清水正二君） 今のところ、2月の平日がいいか、休日がいいかということですね。
五味副委員長。

○副委員長（五味武彦君） 平日も休日、土日も余り関係ないということであれば、平日でいかがですかね。今回の11月のやつが7時であれば、それに倣うような形、夜、具体的にはその辺がいいのかなと、私は個人的には思います。

○委員長（清水正二君） 滝川委員。

○委員（滝川美幸君） もし平日にやるのであれば、若い世代の方にも来ていただくという意味では、平日開催であれば夜になるということは賛成です。それだけでなく、昼間、寒い時期ですけれども、先ほどからご意見が出ているような寒い時期だからということになると、やはり土曜日とかの午前中とかにしないと、働いている方たちの意見交換会はできないと思いますので。

○委員長（清水正二君） ちょっと休憩をとります。

休憩 午後 2時47分

再開 午後 2時53分

○委員長（清水正二君） 会議を再開いたします。

それでは、開催日のほうですけれども、平日というふうな意見が多いようでございますけれども、平日でよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） では、平日で、あとは時間帯を、滝川委員のほうからは平日であれば夕方というふうなご意見がございましたけれども、この点についてはいかがでしょうか。

伊藤委員、若いところでいかがですか。

○委員（伊藤 毅君） 平日なら夜がよろしいかと思います。

○委員長（清水正二君） いいですか。

では、平日の夜ということで決めたいと思います。

内藤委員。

○委員（内藤久歳君） 夜と決まったから、今までの例を見ると、大体こういう場合は、19

時できているから、そこまで確定しておいたほうがいいんじゃないですか、19時ということ。

○委員長（清水正二君） それでは、平日の夜の7時、19時ということで開催をしたいということで、日程のほうは、北部公民館の空きをみて、そんな形でいきたいと思います。

それでは、そのように決定をさせていただきます。

それでは、今後の進め方についてを終わります。

続いて、（3）のその他を行います。

まず、次回の予定ですが、11月30日午後1時30分から開催したいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） それでは、そのようにいたします。

また、協議の内容は、市民アンケートの結果についてと、議員研修会を受けて、第2回目の議員アンケートについてと市民と議会の対話集会についてとしたいと思います。

そのほかに協議事項などご意見ございますか。

〔発言する者なし〕

○委員長（清水正二君） そのほか委員よりその他何かございますか。

〔発言する者なし〕

○委員長（清水正二君） なければ、事務局ございますか。

〔発言する者なし〕

○委員長（清水正二君） よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） それでは、その他を終了いたします。

以上をもちまして、本日の日程は全て終了いたしました。

これをもちまして、議会改革特別委員会を閉会といたします。

ご苦労さまでした。

閉会 午後 2時57分